



2024

多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科

Tama Art University Department of Scenography Design, Drama, and Dance

坂本町D...クフェス

「既成の概念」に
とらわれない——

「まだ何者になりたいか、
はっきりしない時こそ、
新しいものを生み出せる
チャンスだと思います」

「生演奏を取り入れた
とてもカッコいい公演でした」



西崎達磨

(2023年度 演劇舞踊コース卒)

2001年兵庫県生まれ
脚本・演出・俳優など《上演芸術》を中心に活動
多摩美在学時に＜創作集団ザジ・ズー＞を旗揚げ
いつかフジロックに出たいと思っている
卒業制作 演劇公演2023『音楽』の作・演出を担当
現在、東京藝術大学大学院美術研究科 先端芸術表現専攻在学中



「原作の漫画を、
どうすれば《上演芸術》として
成立させられるか——
上演許諾や楽曲制作、脚本など、
試行錯誤していました」

「話し合いを重ね、
ヴィジョンを共有していく
今、世界で一番必要なことを
見せてくれる舞台だった」

2023年度 卒業制作 演劇公演『音楽』

原作:『完全版 音楽』大橋裕之(カンゼン刊)

東京芸術劇場 シアターイースト 2024年1月13日・14日 全4公演

演劇舞踊デザイン学科は 《上演芸術》の創作と研究を 世界に向けて発信する学科です

演劇、舞踊、ミュージカル、古典芸能、新しい身体アート…

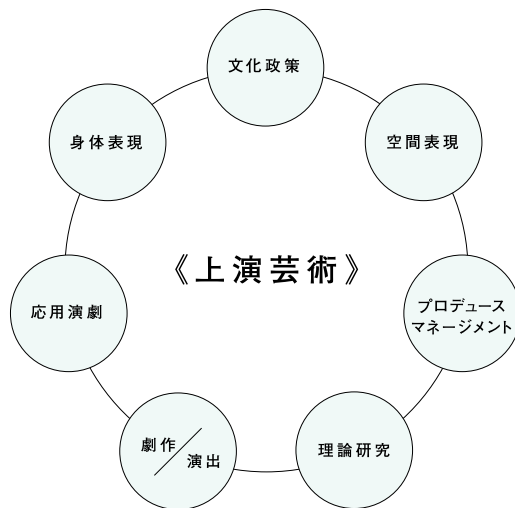
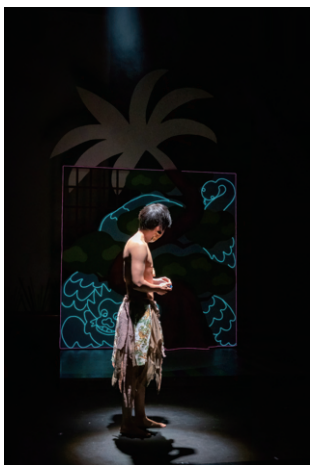
すべて《上演芸術》の中に含まれます。

人類の長い歴史の中で続いてきた芸術の形態——

これからも、人間が身体を持っている限り、なくならない芸術です。

わたしたちに浮上してくるのは、

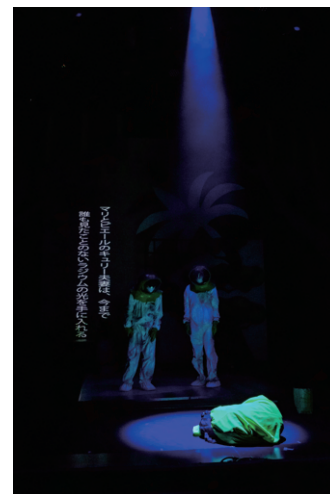
いつだってわたしたちの〈身体〉だから。



《上演芸術》の要素は全て繋がっています。

実技科目と講義科目があります。

卒業後、さらに大学院で学ぶこともできます。



2022年度 3年次 上演制作実習I 演劇公演
『多摩美能楽集Ⅳ ～私たちなりのそりそり、
朝と夜の大爆発キッス～』
◎上野毛キャンパス 演劇舞踊スタジオ スタジオB

コースで学び コースを越えて学ぶ

演劇舞踊デザイン学科には、

〈演劇舞踊コース〉と〈劇場美術デザインコース〉があります。

コースごとの専門性を深めると同時に、

「合同授業」を通じて交差し合いながら《上演芸術》を学びます。

演劇舞踊コースは、《上演芸術》を、
「身体と表現」の視点から探究していくコースです



劇場美術デザインコースは、《上演芸術》を、
「セノグラフィー（視覚演出）」の視点から探究していくコースです



2つのコースが交差し 共にグループワークする まさに一つの学科として 一つのカンパニーとして

自分、もしくは他者の〈身体〉をとおして表現する——
自分たちにしかできない〈表現のかたち〉をさがしだす——

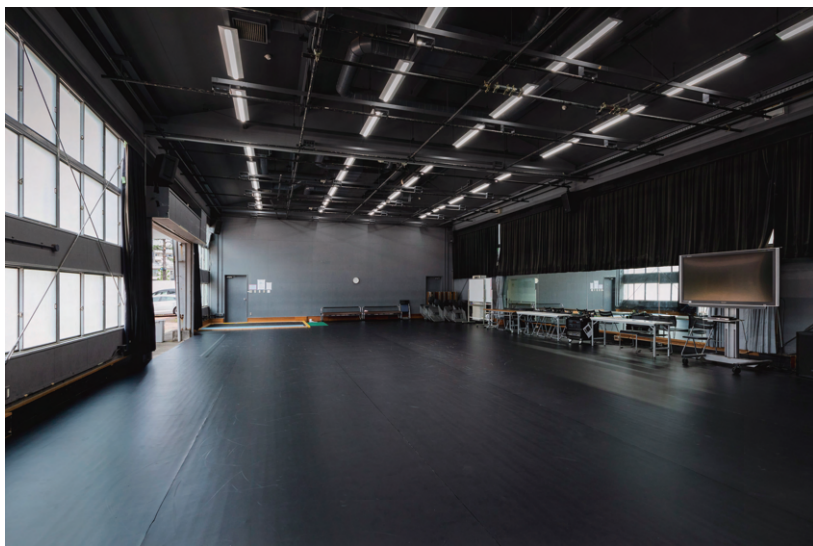


授業のなかで、コンペや綿密な話し合い
が、たえず行われます

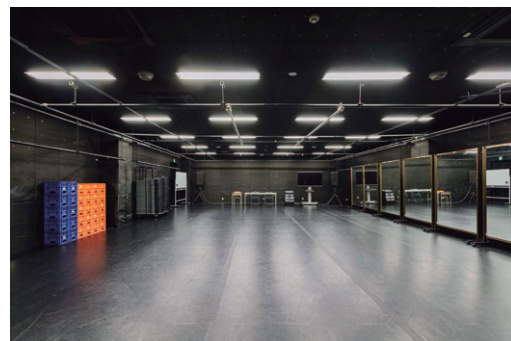


大小様々なスタジオがあります——

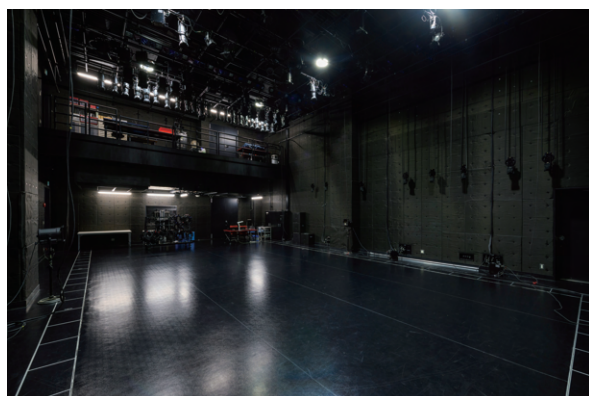
稽古や、授業公演だけでなく、ここで自主的に公演をする学生もいます



A棟 演劇スタジオ



演劇舞踊スタジオ スタジオD



演劇舞踊スタジオ スタジオA

デザイン画にとどまらず、
実物化していくためのアトリエがあります



A棟 舞台美術製作場



B棟 衣裳アトリエ

これからの表現を切り開いていく豊かな人材を 《上演芸術》の最先端で活躍する教員が育成します

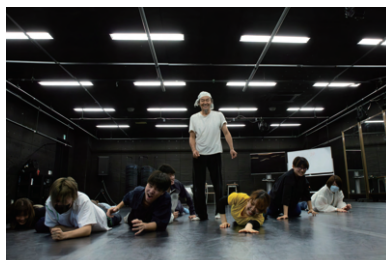


近藤良平 こんどうりょうへい

教授 | ダンサー・振付家

“近藤授業”は、身体の持つ可能性を探る。表現する身体を経験する。仲間と創作をする。

コンドルズ主宰。彩の国さいたま芸術劇場・芸術監督。ペルー、チリ、アルゼンチンで育つ。主な出演作に『THE BEE』『大名倒産』、振付出演に『からだであそぼ』（NHK）『サラリーマンNEO』内「テレビサラリーマン体操」（NHK）などがある。朝日舞台芸術賞・寺山修司賞（2005）、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞（2017）、横浜文化賞（2020）を受賞。著書に『近藤良平という生き方』『からだ心の対話術』。



山本絵子 演劇舞踊コース 1年
自由に体を動かしていく中で、
体の可動域が増えました！

【身体表現基礎Ⅰ】@演劇舞踊スタジオ スタジオD



糸井幸之介 いとい ゆきのすけ

准教授 | 劇作家・演出家・音楽家

2年生はグループワークです。
能から2.5次元舞台まで、日本
演劇史の主要ジャンルを実演&
レクチャー形式で発表します。

芝居と音楽が融合した作風を、「妙〜ジカル」（＝妙なミュージカル）と称し、独自の音楽劇を創作している。主な作品に、FUKAIPRODUCE羽衣『プラトニック・ボディ・スクラム』『春母夏母秋母冬母』『愛死に』、木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』『心中天の網島』などがある。



三島千瀬 演劇舞踊コース 2年
授業内公演の制作でグループの
友達と楽しく試行錯誤してます！

【身体表現基礎Ⅱ】@2号館 2-B01 スタジオE



柴 幸男 しば ゆきお

准教授 | 劇作家・演出家

1年生は戯曲読解と個人創作。
3・4年生は演劇から他ジャンルまで何でもありの探求授業を行っています。



劇場から船上まで、学芸会から工場見学まで、場所や形態を問わない演劇活動を全国各地で行っている。2004年『ドミノ』で仙台劇のまち戯曲賞を受賞。2009年 劇団「ままごと」を旗揚げし、『わが星』(2010)で岸田國士戯曲賞を受賞。近年の作品に、『きみをさがして』(北九州芸術劇場主催 モノレール公演)、ままごと『あゆみ』、『反復かつ連続』(瀬戸内国際芸術祭2022)、『わが町』(東京芸術劇場主催)などがある。



渡邊大輝 演劇舞踊コース 3年

お互いの持ち寄った研究成果や雑学をシェアするのが楽しいです。演技や舞踊を教わるのとはまた違った面白さがあります。

『演劇表現演習I』@B棟 B-105



野上絹代 のがみ きぬよ

講師 | 演出家・俳優・劇作家・振付家

1年は身体、3・4年では対話を通じて他者と向き合いながら「集団で創る」ことを研究・創作する授業です。

多摩美術大学在学中に劇団小指値(こゆびち)(現:快快(FAIFAI))を旗揚げ。俳優・振付家として同劇団の国内外における活動に参加、ソロとしては演出家・劇作家としても幅広く活動している。近年の演出作品に『空中ブランコのりのキキ』(世田谷パブリックシアター主催/原作:別役実)、振付作品に『テラヤマキャバレー』(梅田芸術劇場主催/演出:デヴィッド・ルヴォー)、脚本作品に『DADDY』(エイベックスエンタテインメント主催 ミュージカル/演出:河原雅彦)などがある。



細川佳那子 演劇舞踊コース 1年

学生と先生との距離が近く、始終退屈のしない授業です。

『身体表現基礎I』@演劇舞踊スタジオ スタジオC



金井 勇一郎 かない ゆういちろう

教授 | 舞台美術家

舞台美術ゼミ(卒業個人制作)。舞台美術デザイン/小道具・大道具製作/論文のいずれかで表現します。



金井大道具株式会社 代表取締役社長。プロダクション・マネージャーをつとめた『ハリーポッターと呪いの子』が、読売演劇大賞選考委員特別賞、菊田一夫演劇賞大賞を団体受賞する(2022)。2006年には『NINAGAWA 十二夜』で読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、2008年に『憑神』で伊藤熹朔賞を受賞した。2023年には、文化庁長官表彰も受けている。

住吉愛子 劇場美術デザインコース 4年

自由に制作させてもらっているところが良いところです。

『劇場美術演習Ⅱ』@2号館 2-203



加納 豊美 かのう とよみ

教授 | 舞台衣裳家・衣服文化研究者

視覚演出・衣服文化の視点から創作・研究する授業を担当しています。“衣服”は饒舌。だから表現に使える!



(有)アトリエ・DIG代表。1984年～86年に中国留学。北京中央戯劇学院舞台美術学部で学ぶ。著書に『加納豊美 舞台衣裳の仕事』『キラボシ未来通信』、論文に『衣服・身体・所作・思考』シリーズなどがある。日本舞台テレビ美術家協会展覧会賞、伊藤熹朔賞新人賞を受賞。衣裳デザインを担当した演劇作品『貴婦人の来訪』(新国立劇場主催)は、読売演劇大賞上半期スタッフ部門ベスト5(2022)に選出された。東京演劇大学連盟代表理事。

中林志真 劇場美術デザインコース 2年

衣服文化の歴史などを学ぶことが出来てとても楽しいです。

『空間デザイン基礎Ⅱ』@3号館 3-202



大平 智己 おおひら ともみ

講師 | 照明家

2年生の空間デザイン基礎Ⅱ「照明演習」では、グループで照明デザインの技法と照明操作の手順を学んでいます。



1998年～2023年、株式会社アート・ステージライティング・グループに在籍し、オペラ、演劇、各種イベントなどの照明デザインを担当する。愛媛県民オペラ『妖精の唄う鳥』で2004年度日本照明家協会賞新人賞を受賞。2007年以降は、シアターカンパニー「チェルフィッチュ」の『三月の5日間』や『ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶』などの照明デザインを担当し、40か国50都市以上の公演に帯同した。

上馬真歩 劇場美術デザインコース 2年

ものの見え方を操れるところが面白いです。

『空間デザイン基礎Ⅱ』@演劇舞踊スタジオ スタジオA



山下恒彦 やました つねひこ
教授 | プロダクションデザイナー

映像美術とは、構図というカメラの視点から、美術監督の役割をより直感的に理解させてくれます。



元日本放送協会(NHK)デザインセンター所属。2013年に空間デザイン工房指傳を設立。『東京ブラックホール』で伊藤薫朔賞、『坂の上の雲』で映像技術賞(美術部門)を受賞。代表作に、『三国志』『われら新音楽人』『負けて勝つ』などがある。JTVAN(特定非営利法人・テレビ日本美術家協会)会員。

キュウ ジュニン 大学院 劇場美術デザイン研究領域 1年
実際の映画やドラマの撮影現場と最終的な映像を比較しながら、美術監督の役割をより直感的に理解させてくれます。

大学院『劇場美術デザイン特論』@B棟 B-105



土屋康範 つちや やすのり
教授 | 演劇研究者

演劇の歴史と理論の講義。戯曲は読み合わせます。新しい演劇はその根源を知ることによって生み出せる!



研究テーマはドラマ論、西洋近代劇論。劇的とは何か、なぜ人はドラマを求めるのかを日々探究している。2003年に明治大学大学院博士課程単位取得。著書に『演劇の課題』、『演劇の課題2』他、主な論文に『イブセン戯曲のリアリズムと象徴』、『ドラマ教育における即興劇の効用に関する試論』などがある。東京演劇大学連盟事務局長。

小澤日菜 演劇舞踊コース 3年
じっくり時間をかけてひとつの戯曲をみんなで読解し実際に読み合わせする授業。戯曲は実際に声に出さないと分からないことが多いです。

『演劇舞踊史研究I』@Cube-101



森山直人 もりやま なおと
教授 | 演劇批評家

テーマは「総合芸術」。演劇やダンスの他、映画やアニメやMVも総合芸術です。比較すると、何が見えてくる?



2001年から23年3月まで京都を拠点に活動。京都造形芸術大学舞台芸術研究センター主任研究員、及び機関誌『舞台芸術』編集委員の他、KYOTO EXPERIMENT実行委員長(2012~19)、京都芸術センター運営委員(2012~)をつとめる。著書に『舞台芸術の魅力』(共著、放送大学教育振興会)など。『舞台芸術』、『シアターアーツ』、『ユリイカ』などに批評・論文を執筆。専門は演劇批評、現代演劇論。

アキ ガブン 劇場美術デザインコース 2年
森山先生の複数の科目を取ると、たくさんの知識が互いに関連していて、繋がりがわかるたびにとても興奮します。

『演劇舞踊論III』@Cube-101



在校生の声

Q 1 多摩美を受験した動機は？

吉浜：どうせ大学に行くなら演劇を勉強したいと思ったから!! ラーメンズの出身校だったから!!

高橋：高校は演劇部に所属していて、もっと専門的に学んでみたいと思ったから。「舞台美術を深く学べる美大は多摩美しかない!」と思った。

草野：自分は何になりたいのか、何をしたいのかを考える時間が欲しかった。

岡崎：演技も舞踊も演出も全部わがままに学びたかった。

五十嵐：自由な校風が自分に合うと思ったから。自由人なので、私。

森：家から近い。

シュウ：多摩美の公演を見て、「こんな舞台をやりたいなー」と思いました。

岩波：ひとつの領域に絞らず、多角的な視点から「表現」を楽しみたいから。

前田：はじめは横断的に学べるカリキュラムが、大まかなビジョンしかなかった私にマッチしていた。

杉浦：照明をやりたいかったから。

松橋：オープンキャンパスが楽しかった。美大で演劇をしたかった!

大野：高校の文化祭で舞台設計や舞台製作の監督を経験し、とんでもなくハマったことがきっかけ。

平岡：専門授業の多さと、1年生からそれらに触れられること。あと美大は面白そうだった。



演舞4年 吉浜芽生人



劇美4年 高橋一溪



演舞3年 草野浩世



演舞3年 岡崎穂紗



演舞3年 五十嵐萌華



劇美3年 森ころ



劇美3年 シュウ テイメイ



演舞2年 岩波龍之介



劇美4年 前田遥来



劇美3年 杉浦千尋



演舞1年 松橋惟真

Q 2 多摩美に来て一番よかったことは？

吉田：チャンスが沢山転がっている。役者だけでなく、スタッフ業務もやろうと思えばやらせてもらえる。

吉浜：野田秀樹先生（※現・名誉教授）のワークショップに参加できたこと!

井上：みんなで創り上げていく授業が多く、個人の発想力や場をまとめる力がついた。

前田：上演芸術を体験と実感で学べる点。

西内：実習を通していろいろな経験ができること。経験がものを言う世界なので。

高橋：第一線で活躍している先生方に囲まれて学べる場所。同じ志を持った同級生から刺激を受けている毎日です。

杉浦：設備が整った環境で試行錯誤できること。あとは図書資料の多さ。

加藤：自分の「好き」を表現する手段の幅が広がった。

岩波：授業が楽しいよ!

松橋：発表の機会がある! 「一緒にやろう?」が飛びかって、一緒に作品を作る雰囲気がある!

大野：ユニークな教授陣のもとにこだわりや強い意志をもつ学生が集う。まるで魔法学校のように。毎日がわくわくでたまらない。

Q 3 受験期にどんな準備をした？

井上：長ゼリフの構成 & 読み・会話シーン本読み。

西内：予備校に通いながらデッサンと色彩を勉強してました。自身でも傾向対策したり戯曲を読んだりしてました。

岡崎：実技試験、面接、小論文。

五十嵐：素でいることを意識しました。過去問もあまり見ず（あがりやすいので）大きい声を出すことと、素で最後まで頑張ることを意識しました！

シュウ：ポートフォリオを初めて本気で作りました。留学生なので、日本語の練習に一番時間がかかった・・・。

加藤：高2の冬から画塾に通いました。

平岡：ギャラリーに行く。インプットは大事。テスト期間とかに1日3つとかまわってました。

Q 4 受験生にひとこと！

吉田：演劇経験がなくても飛び込めばなんとかなる！ 真正面からぶつかりあえる仲間がたくさんいる大学です。

西内：自分の好きなものやりたいことにまっすぐでいて下さい。きっと熱意ややる気が実を結ぶはずですよ。

高橋：君にとってアートとは何だ？ 今君が思い浮かべたものを大事に受験がんばれ。

駒井：最後まで自分自身を信じぬいてください!! 自分がいちばんの心強い味方です。

加藤：なんとかなる！ 入学した後何したいか考えときな!

岩波：ぜったい楽しいからおいで♡

前田：Break a leg!

Q 5 将来の夢は？

吉浜：死ぬほど面白い作品を作れる人になる!!

井上：演出、演出助手、舞台監督、制作・プロデュース、この中から自分の最適解を見つけること。

草野：劇団四季に入団すること!!

駒井：やりたいことに正直に向き合い続けること。私自身を信じて、自分を大切に、好きな私で居たいです。

岡崎：I want to be a Broadway actress.

森：ブランドを立ち上げる。自分で作る。

岩波：自分が好きな自分になれること。

松橋：次の東京オリンピックを演出したい。パフォーマーとして、アーティストとして有名になる!

大野：大迫力の合戦シーンを演劇で再現したい。

Q 6 今日のランチは？

吉田：あんぱん

西内：おにぎり🍱のりはバリバリ派です!

駒井：ピリ辛きゅうり、自作半熟ゆで卵、野菜ジュース

加藤：昨夜の鍋の残りで作ったおじや

松橋：2号館に売っているパン! とてもおいしい

平岡：学食のラーメン!! 安い!! 好き!!



劇美1年 大野煌貴



劇美1年 平岡朱夏



演舞4年 吉田美織



演舞4年 井上祥多



劇美4年 西内穂波



劇美3年 加藤仁子



演舞3年 駒井珠里

卒業生が語る多摩美のまなび

演劇舞踊デザイン学科10周年／多摩美の《上演芸術》教育70周年

演劇舞踊デザイン学科は2014年設立の新しい学科ですが、多摩美における《上演芸術》の教育は1954年からの長きに渡ります。改組を重ねて現在の学科に至り、2024年春には7期生が巣立ちました。専門性の高い学びを生かして歩みを進めている卒業生の声をお届けします。

多摩芸術学園 演劇学科・芸能美術学科	溝の口キャンパス	1954-1992
多摩美術大学 美術学部二部 芸術学科	上野毛キャンパス	1989-2002
多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科	上野毛キャンパス	1999-2017
多摩美術大学 美術学部 演劇舞踊デザイン学科	上野毛キャンパス	2014-



乗峯雅寛 のりみね まさひろ
舞台美術家 (2001年度卒)

2007年文化庁新進芸術家海外研修生として渡英。読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、紀伊國屋演劇賞個人賞、伊藤薫賞新人賞など受賞多数。ストレートプレイを軸に、ミュージカル、2.5次元など様々なジャンルの舞台美術デザインを手掛けている。文学座所属。

大学1年の時に演劇と出会い、僕の世界は大きく変わりました。上演実習や卒業制作がデビュー作、そのまま今の仕事に結びついています。発見した面白いことを、一緒に楽しめるチームとさらに膨らませて観客に届ける。実習で学んだ舞台の基礎は今も変わりません。技術と、何より大事なコミュニケーション。大切なことを学んだ4年間です。



『骨と十字架』(演出:小川絵梨子/新国立劇場 中劇場、2019年)



『リチャード二世』(演出:鶴山仁/新国立劇場 中劇場、2020年)



加藤 諒 かとう りょう
俳優 (2011年度卒)

1990年2月13日生まれ、静岡県出身。俳優としての活動のほかバラエティ番組でも個性あふれるキャラクターで人気を集めている。近年の主な出演作に、映画『翔んで埼玉』シリーズ(2019・2023)、舞台『バタリロ!』シリーズ(2016~22)、ミュージカル『スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師』(2024)などがある。

実技の授業が多かったことが楽しかったです。舞台制作やフィルムで短編映画を撮ったり写真を撮ったり、学内劇団に入って制作発表会に参加しました。時には学校から飛び出して、二子玉川ライズ×多摩美の『タマリバス』にも参加させていただいて、ひびのこづえさんの衣裳を纏い、森山開次さんの振付を踊りました。学生時代に第一線で活躍されている方や先生方とクリエイティブ出来る環境があった事は、今の自分の活動にも繋がる大事な時間だったと思います。



ミュージカル『スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師』(演出・振付:宮本亞門/東京建物Brillia HALL、梅田芸術劇場、他、2024年)

提供:ホリプロ/撮影:渡部孝弘



『バタリロ!』(演出:小林顕作/紀伊國屋ホール、他、2016年初演)

©魔夜峰央/白泉社 ©舞台「バタリロ!」製作委員会

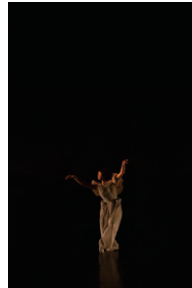


安部 萌 あべ めぐみ

ダンサー/俳優 (2017年度卒)

1995年生まれ、山形県出身。幼少よりクラシックバレエを学ぶ。現在は舞台出演を中心にジャンル問わず活動中。近年の出演作に、舞台『千と千尋の神隠し』アンサンブル(ダンスキャプテン兼任)、木ノ下歌舞伎『桜姫東文章』、若林萌監督作品『サカナ島胃袋三腸目』など。

基礎的な身体性を鍛錬しつつも、とにかく自由に創作し続けられた時間でした。実技だけでなく、座学を通して芸術分野全般において多様な歴史や現状を広く学ぶことができました。感覚的ではありますが“アートの空気”のなかで現在の自身に直結しているパフォーマーとしての自分と向き合うことができたのは、美術大学ならではの環境だったと感じています。



妖精大図鑑『無関係のジョバンニ』(吉祥寺シアター、2023年)
撮影:福本剛士



『雨粒拾い、屋上にて。』(振付:永野百合子/横浜赤レンガ倉庫、2023年) 撮影:菅原康太



須澤里佳子 すざわ りかこ

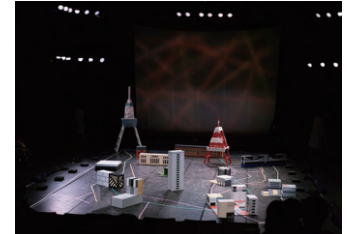
デザイナー (2017年度卒)

1995年ロサンゼルス生まれ。舞台美術デザインのほか、演劇やイベントの図面作成、道具帖作画、歌舞伎や文楽の背景作画に携わる。金井大道具株式会社 営業本部デザイン部所属。

大学在学中に舞台美術において他者とコラボレーションすることの面白さ、自分のイメージを超えたものが目の前に立ち上がる瞬間と出会い、いまでも魅了され続けています。この学科には実践的かつ自由な学びの場があります。一つずつ目の前のことを丁寧にやり遂げ、積み重ねていくことで、自ずと進みたい道が開けていくと思います。



『てんとせん』(作・演出:柴幸男/宮城野区文化センター パトナシアター、2021年)
主催:公益財団法人仙台市民文化事業団/仙台市



『わが町』(作:T・ワイルダー/演出:柴幸男/東京芸術劇場 シアターイースト、2023年)

主な進路 演劇舞踊コース

就職:松竹(株)、チャコット(株)、(株)JTB コミュニケーションデザイン、(株)木下工務店レジデンス、(株)メディアミックス・ジャパン、朝日生命保険相互会社、(株)マーベラス など
進学:多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程、東京藝術大学大学院美術研究科・映像研究科・音楽研究科、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ博士前期課程、ワタナベエンターテインメントカレッジ俳優養成所
劇団など:劇団唐組、ままごと、ザジ・ズー

主な進路 劇場美術デザインコース

就職:金井大道具(株)、劇団四季、(株)松竹衣裳、(株)シミズオクト、高津装飾美術(株)、(株)角川大映スタジオ、(株)日本テレビアート、(株)ポニーキャニオン、(株)オリエンタルランド、(株)TBSアクト など
進学:多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程、東京藝術大学大学院美術研究科・映像研究科
劇団など:文学座

2025年度入試案内 入試の詳細については各種「2025年度学生募集要項」でご確認ください。

◆ **一般選抜（一般方式 / 共通テストI方式 / 共通テストII方式）**

一般方式 募集人員：演劇舞踊コース18名 / 劇場美術デザインコース11名

実施日	コース	試験科目
2月7日(金)	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン・デザイン
2月10日(月)	● 演劇舞踊・劇場美術デザイン	学科試験(国語・英語)
2月12日(水)	● 演劇舞踊	身体表現

共通テストI方式 募集人員：演劇舞踊コース12名 / 劇場美術デザインコース4名

実施日	コース	試験科目
1月18日(土) 1月19日(日)	大学入学共通テスト(7教科17科目から2教科2科目選択)	
2月7日(金)	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン・デザイン
2月12日(水)	● 演劇舞踊	身体表現

共通テストII方式 募集人員：劇場美術デザインコース2名

実施日	コース	必須・選択等		試験科目
1月18日(土) 1月19日(日)	劇場美術デザイン	必須	数学①	「数学I, 数学A」
		必須	数学②	「数学II, 数学B, 数学C」
		選択1科目	理科	「物理」「化学」「生物」「地学」
		選択1科目	国語	「国語(近代以降の文章)」
			外国語	「英語」
			情報	「情報I」

◆ **総合型選抜**

募集人員：演劇舞踊コース20名 / 劇場美術デザインコース13名

実施日	コース	試験科目	提出物
11月23日(土)	● 演劇舞踊	小論文・身体表現	—
	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン	—
11月24日(日)	● 演劇舞踊	面接	—
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※

※ポートフォリオは出願時に提出

◆ 外国人留学生選抜・帰国生選抜・3年次編入学選抜

外国人留学生選抜・帰国生選抜 募集人員：演劇舞踊コース若干名 / 劇場美術デザインコース若干名

実施日	コース	試験科目	提出物
12月19日(木)	● 演劇舞踊	小論文	—
	● 劇場美術デザイン	小論文・鉛筆デッサン	—
12月20日(金)	● 演劇舞踊	身体表現・面接	—
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※

※ポートフォリオは出願時に提出

3年次編入学選抜 募集人員：演劇舞踊コース若干名 / 劇場美術デザインコース若干名

実施日	コース	試験科目	提出物
12月19日(木)	● 演劇舞踊	小論文	—
	● 劇場美術デザイン	小論文・鉛筆デッサン	—
12月20日(金)	● 演劇舞踊	身体表現・面接	これまでの作品・活動記録等 を書面にまとめたもの (書式自由)※1
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※2 (出身学校の課題を含む)

※1 全て出願時に提出

※2 ポートフォリオは出願時に提出

◆ 大学院美術研究科博士前期課程(修士課程)選抜

募集人員：演劇舞踊専攻(演劇舞踊研究領域 / 劇場美術デザイン研究領域) 8名

実施日	研究領域	試験科目	提出物
1月24日(金)	● 演劇舞踊 ● 劇場美術デザイン	小論文	—
1月25日(土)	● 演劇舞踊	面接	作品3点以上(形式自由) およびポートフォリオ※1
	● 劇場美術デザイン		作品3点以上(形式自由) およびポートフォリオ※2

※1 全て出願時に提出

※2 ポートフォリオは出願時に提出

入学試験会場

● 上野毛キャンパス

● 八王子キャンパス

まだ、誰も見たことがない 祭りへ!

タマリバーズとは？





多摩美術大学 × 二子玉川ライズ
二子玉川地域連携アートプロジェクト タマリバーズ

〈タマリバーズ〉は、PBL (Project Based Learning) 科目から生まれるアートプロジェクトです。産学連携型授業として、多摩美術大学と東急株式会社が共同展開しています。上野毛キャンパスに近在する二子玉川ライズを拠点に、2011年から歴史を刻み、今や街の秋の風物詩に育ちました。

メインイベントは、二子玉川ライズの半屋外空間ガレリアを舞台とした“広場演劇”。

自由と意力

Freedom and Will

観察し、思考しよう。

構想し、実行しよう。

創造し、表現しよう。

何事にも妨げられない自由な想像力と、

独自の世界を築き続ける強い意志とともに。

意力によって自由は生まれ、自由によって意力は育まれる。



学科オリジナル
サイト



演劇舞踊
コース



劇場美術デザイン
コース



募集要項

多摩美術大学 美術学部 演劇舞踊デザイン学科 演劇舞踊コース / 劇場美術デザインコース
〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34 TEL: 03-3702-1186(直通) 窓口メール: sdd@tamabi.ac.jp HP: <https://www.sdd.tamabi.ac.jp>

2024年7月13日 発行

デザイン: 則武 弥 撮影: 白井晴幸 編集・発行: 演劇舞踊デザイン学科研究室